

市長タウンミーティング議事録

- 日時 令和5年12月19日（火）17：30～19：00
- 場所 大阪青山大学4号館1階大会議室
- 参加者数 大阪青山大学生12名
- 対応者 上島市長、地域創造部 葦澤副部長、地域創造部 野澤担当副部長、子ども未来創造局 藪本副部長、子ども未来創造局 遠近担当副部長
- 事務局 市民サービス政策室 4名

【質疑応答概要】

● 箕面市の観光イベントについて

- ・ 市長から説明があった観光関連のイベントについて、大人向けのものが多く、若者向けのイベントが少ないように感じた。市と学生がコラボして、若者ならではの発想を取り入れてもらえる機会があれば、より良いイベントを企画できると思う。

（市からの回答）

- ・ 令和4年度に策定した箕面観光戦略の方針に沿いつつ、いろいろとアイデアを出して、若い人に楽しんでもらえる工夫をしていきたいと考えている。ぜひ一緒に考えていってもらいたい。

● 生涯学習センターの若者利用について

- ・ 船場阪大前駅は、たくさんの若い人が利用する駅になると思う。その付近に設置されている生涯学習センターに、学生割引等の若い人向けのサービスはあるのか。

（市からの回答）

- ・ 船場生涯学習センターには、音楽スタジオやバスケットコートなど、若い世代向けの場所を多く用意している。ぜひ生涯学習センターを利用してほしい。

● 支援教育について

- ・ 私は箕面市で学校ボランティアをしている。教室に入れない子どもたちが一定数いるが、このような子どもたちに対して、どのような支援をしていけばよいか。また、箕面市としては、このような生徒たちへの対応をどのように考えているか。

（市からの回答）

- ・ 現在、教室に入れない児童生徒が増加しており、箕面市では、通級指導教室を設置し、「ともに学び ともに育つ」支援教育を進めている。今後も、支援教育支援員とともに、試行錯誤しながら、複数の目で複数の子を見守っていきたい。

● 北大阪急行延伸実現の経緯について

- ・ 北大阪急行延伸計画は55年前から構想されていたとのことであるが、なぜ今、実現に至ったのか。その経緯が知りたい。

(市からの回答)

- ・ 一番はお金の問題である。国、府、市及び事業者、それぞれの負担額の按分について折り合いがつかず、工事を始めることができなかった。国に繰り返し要望を行い、交渉を進めた結果、国の負担額を増加させることができ、計画の実現に至った。

● 市立病院の建て替えについて

- ・ 箕面市と同様の経営手法を取り入れている川西市立病院では、退職する人が多く、スタッフの不足が生じていると聞く。箕面市は、これらの問題について、どのように考えているのか。また、市立病院は市民からの信用も大事だと思うが、どのように信用を得ていくつもりか。

(市からの回答)

- ・ 大前提として、市立病院を新しくするのは、持続可能な質の高い医療を実現するためであり、市民のためである。これまでの市立病院では赤字が続いており、経営が困難な状況であった。再編統合し、指定管理者制度を導入することで、市の財政的負担を減少させ、断らない医療・質の高い医療を実現することができる。

● バスケットボール大会の開催について

- ・ 箕面市付近では、バスケットボールの大会が開催されないため、遠方まで出向く必要がある。船場でバスケットボールの大会を開催し、そこにキッチンカーを招き入れることで、地域が活性化すると考えている。検討してほしい。

(市からの回答)

- ・ 箕面市バスケットボール協会において、幅広い世代にバスケットボールを楽しんでもらうための取組を検討している。ぜひ、箕面市バスケットボール協会に加入してもらい、市民大会の中にキッチンカーを入れてもらうなどの提言をしてほしい。また、箕面市バスケットボール協会で、学生の輪を広げてもらい、市にそういった意見をどんどん届けてほしい。